



iDVD

スタートアップガイド

iDVD の各ウインドウおよびコントロールについて紹介し、独自の DVD を作成する方法を説明します

目次

第 1 章	3	ようこそ iDVD へ
	3	このマニュアルの構成
	4	「iDVD 6」の新機能
	5	DVD の構成要素
	6	「iDVD ヘルプ」について
第 2 章	7	iDVD チュートリアル
	7	チュートリアルの内容
	7	始める前に
	8	ステップ 1：チュートリアルで使うムービー、写真、オーディオファイルを見つける
	10	ステップ 2：新規プロジェクトを作成する
	12	ステップ 3：DVD テーマを選択する
	13	ステップ 4：ムービーやシーン選択メニューを追加する
	16	ステップ 5：スライドショーを追加する
	20	ステップ 6：メニューのテキストの外観を変更する
	22	ステップ 7：メインメニューをカスタマイズする
25	ステップ 8：ボタンの外観を変更する	
26	ステップ 9：マップビューでプロジェクトを整理する	
30	ステップ 10：DVD を作成する	
第 3 章	35	iDVD 各部の説明
	36	iDVD ウィンドウ
	37	「テーマ」パネル
	38	「メニュー」パネル
	39	「ボタン」パネル
	40	「メディア」パネル
	43	「プロジェクト情報」ウィンドウ
	44	ドロップゾーンエディタ
	45	スライドショーエディタ
	46	マップビュー

このマニュアルでは「iDVD」の基本的な使い方を解説し、「iDVD 6」の新機能を紹介します。

「iDVD」を使うと、オリジナルのムービー、スライドショー、ミュージック、さらにはプロ並みのデザインで使いやすい DVD メニューまで備えた、まるでハリウッドの作品のような DVD を作成できます。「iDVD」で作成したディスクは、DVD ドライブ搭載コンピュータや据え置き型 DVD プレーヤーなど、ほとんどの DVD プレーヤーで再生可能です。

このマニュアルの構成

このマニュアルは 3 つの章から構成されます。状況に応じてどのような順序で読むこともできますが、通常は次の順序で読み進めるようお勧めします：

- 第 1 章、「ようこそ iDVD へ」：このバージョンの「iDVD」の主な新機能について簡単に紹介します。また「iDVD」に関する詳しい情報の入手方法、および必要な専門用語の簡単な解説も記載しています。
- 第 2 章、「iDVD チュートリアル」：ガイダンスに従って 1 枚の DVD を作成するチュートリアルです。ディスクを用意して実際に操作しながら読み進めると、「iDVD」の基本的な機能をよく理解できるでしょう。さらに、便利な使い方のヒントや、より詳しい情報の見つけ方についても説明します。チュートリアルで扱う詳しい作業内容については、第 2 章の冒頭に記載しています。
- 第 3 章、「iDVD 各部の説明」：iDVD ウィンドウのコントロールと機能について紹介します。iDVD ウィンドウの各部分にどのような役割があるかを解説します。ここでひと通り把握しておくと、第 2 章のチュートリアルでの手順が理解しやすくなるでしょう。また、この章は iDVD プロジェクトを作成するときにもクイックリファレンスとして役立ちます。

「iDVD 6」の新機能

「iDVD 6」では、これまで以上にプロフェッショナルな仕上がりの DVD をよりすばやく簡単に制作するための、さまざまな新機能が追加されました。

- **Magic iDVD**：テーマを選んでからムービーや写真を選択すると、「iDVD」によって DVD プロジェクトが自動的に作成される機能です。Magic iDVD プロジェクトには、ムービーやスライドショーに使用するメインメニューと、チャプタの付いたムービーに使用するシーン選択メニューがあります。選んだコンテンツが自動的にドロップゾーンに表示されます。この状態で DVD を作成することもできますし、通常の iDVD プロジェクトと同じようにさらに編集を重ねることもできます。
- **ワイド画面に完全対応**：ワイド画面用のテーマ、メニュー、ムービー、およびスライドショーを使ってワイド画面対応 DVD をオーサリングできるようになりました。新しいウィンドウはサイズの変更も可能なため、ワイド画面プロジェクトの作業をより簡単に行うことができます。
- **新しい iDVD テーマ**：アップルがデザインした新しいテーマは、標準サイズのプロジェクトにもワイド画面プロジェクトにも使用できます。新しいテーマファミリーはそれぞれ、コーディネートされたメインメニュー、チャプタまたはシーン選択メニュー、その他の素材とセットになっています。
- **ドロップゾーンへの自動的な追加**：クリック1つで DVD メニューのすべてのドロップゾーンにビデオや写真を追加できます。操作性が向上したドロップゾーンエディタにより、メニュー上のドロップゾーンに素早くコンテンツを追加することが可能になりました。
- **柔軟に編集できる DVD メニューとボタン**：DVD メニューとボタンを細かい部分まで思い通りに編集できるようになりました。BGM についても、ボリュームの調整や、フェードインやフェードアウトが設定できます。選択できるボタンスタイルも増え、ボタンの強調表示色のカスタマイズや、モーションボタンへのイン点やアウト点の設定なども行えます。さらには、メニュー上で複数のボタンスタイルをミックスすることまでできるようになりました。まさに映画監督さながらに、イメージ通りの DVD を作り上げることができます。
- **改良されたスライドショー**：スライドショーのビジュアルがさらに進化しました。タイトルやコメントの追加が可能となり、また 1 つのスライドショーに何千枚ものスライドを含めることができます。「iPhoto」で作成したブックからスライドショーを作成したり、「Keynote」のスライドを読み込んで美しいプレゼンテーション用 DVD を作成したりできます。
- **マップビュー編集機能の拡張**：非常に容量の大きな DVD プロジェクトでもドラッグ&ドロップだけで操作できるようになりました。マップビューで DVD メニューアイコンをドラッグ&ドロップすることで、メニュー間での移動が可能です。DVD プロジェクトの一部を削除しても、メニューは自動的に再接続されます。また、DVD に何らかの問題がある場合、ディスクを作成する前にマップビューに警告が表示されます。
- **複数のドライブに対応**：複数のドライブを使用してディスクを作成する場合に、「iDVD」では DVD を作成するために使用するドライブを選択できるようになりました。

「iDVD 6」に関する最新情報については、「iDVD」の Web サイト (www.apple.com/jp/ilife/iddvd) を参照してください。

DVD の構成要素

市販されている DVD を見たことがあれば、DVD の基本的なコンセプトについてはすでにご存知だと思います。

1 枚の DVD にはさまざまなコンテンツが収録されています：

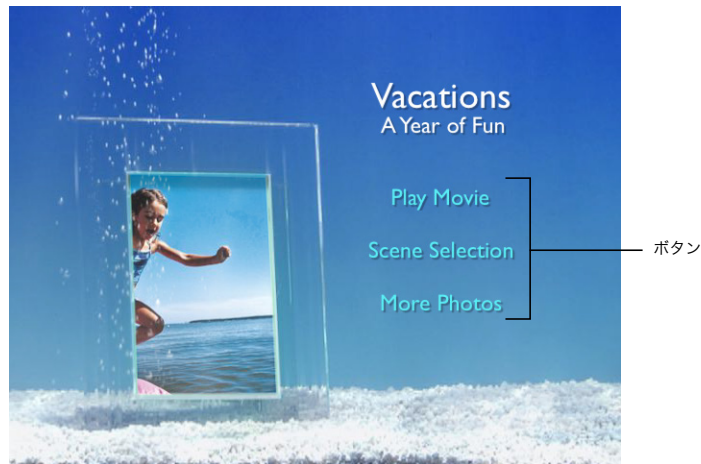
- ムービーやビデオクリップ
- 写真などの静止画像
- ほかのコンピュータにコピーできる書類などのファイル

DVD 作成のプロセスは、すべてのコンテンツを集めるステップと、コンテンツへのアクセス方法をデザインするステップで構成されています。

メニュー

DVD を光学式ドライブや DVD プレーヤーに挿入すると、テレビやコンピュータの画面に最初に表示されるのが、メインメニューです。自分で DVD を作成する場合も、最初にこのメニューを作成します。

黒い画面に DVD のコンテンツを一覧にしたいだけの簡単なものでも、クリック可能なテキストやグラフィカルボタンを備えた静止画や動画を背景イメージにしたものでも、メニューとして使用できます。



ナビゲーション

DVD メニューのボタンをクリックすると、ムービーや曲が再生されたり、スライドショーが開始されたり、別のメニュー（サブメニューと呼びます）が表示されたりします。サブメニューとは、さらに多くのコンテンツを表示するためのメニューです。DVD に複数のサブメニューを作成することができます。

メニューをデザインする場合は、鑑賞者を意図したコンテンツへと誘導するためのボタンを追加します。

テーマ

DVD メニューとボタンの全体的な外観のことをテーマと呼びます。テーマは、メニューで使用する色やグラフィック、フォントスタイルやテキストサイズ、ボタンの形状など、さまざまな要素で構成されています。

「iDVD」が提供する美しいテーマは、誰でもすぐに使用でき、カスタマイズも簡単です。テーマに加えた変更を別のプロジェクトでも使用するには、変更したテーマをよく使う項目として保存します。

どうですか？ 簡単でしょう？次の章ではガイダンスに従ってはじめての DVD を作成してみましょう。

ご存じですか？ — 短時間で作成できる DVD

「iDVD 6」ならこんなことも可能です。限られた時間の中で DVD を作成しなければならない場合、「iDVD 6」には DVD を簡単に作成できる機能がいくつか備えられています。

OneStep DVD を使えば、DV ビデオカメラから直接 DVD を作成できます。録画したビデオ映像を編集することなくそのまま DVD に書き込む場合に便利です。プレーヤーに入れると自動的に再生が始まります。メニューはありません。

ボタン付きのメニューの入った DVD を簡単に作成したい場合は、OneStep DVD からステップアップして、Magic iDVD を作成します。「iDVD」を起動し、「Magic iDVD を作成」をクリックします。次にテーマを選び、DVD に保存するメディアとミュージックを決定します。これで作業は完了です！自動的に DVD が構築され、指定したフォーマットのディスクが作成されます。

OneStep DVD および Magic iDVD について詳しくは、「iDVD ヘルプ」を参照してください。

「iDVD ヘルプ」について

お使いのコンピュータには「iDVD」のヘルプシステムが内蔵されています。「iDVD」を起動し、メニューバーから「ヘルプ」>「iDVD ヘルプ」と選択します。iDVD ヘルプが開いたら、ページの最上部にある検索フィールドに単語または文章を入力するか、いずれかのトピックをクリックして、目的のトピックに関する情報を検索します。

「iDVD ヘルプ」のメインページからは、「ヒントとコツ」の Web サイトやアップルのサポート Web サイトなどの役に立つリソースへのリンクがあります。

「iDVD 6」に関する最新情報については、「iDVD」の Web サイト (www.apple.com/jp/ilife/iddvd) を参照してください。

このチュートリアルでは、独自のムービー、写真、ミュージックを使って、簡単な「iDVD」のプロジェクトを作成する手順を解説します。

チュートリアルを完了すると、DVD に書き込める状態のプロジェクトが完成します。

チュートリアルの内容

このチュートリアルの手順に従って作業すれば、ムービー、メインメニュー、特定のシーンに直接移動するためのメニュー、そしてスライドショーを組み込んだ iDVD プロジェクトが完成します。同時に次のことが理解できます：

- iDVD プロジェクトを立ち上げる手順。
- ほかの「iLife」アプリケーションのメディアを iDVD プロジェクトにまとめる手順。
- iDVD メニューのカスタマイズ方法。
- スライドショーの作成とカスタマイズ。
- マップビューを活用した効率のよい編集方法。
- DVD の作成。
- できあがった DVD の再生。

チュートリアルの随所に、補足事項やより詳しい情報の見つけ方をまとめた、「ご存じですか？」という囲み記事があります。

始める前に

チュートリアルでの作業をしやすくするため、始める前にこの書類を印刷しておいてください。

このレッスンや「iDVD ヘルプ」で説明される多くの作業では、さまざまなメニューコマンドを選択する必要があります。メニューコマンドは次のように表記されます：

「編集」 > 「コピー」と選択します。

このように、「」で囲まれた用語が不等号 (>) でつながれている場合、最初の用語は「iDVD」メニューバーのメニュー名です。次に続く用語（複数の場合もあります）は、そのメニューから選択する項目です。

事前の準備

チュートリアルを進めるためには下記の準備が必要です：

- ムービーファイル（可能であれば、チャプタマーカ付き）
「iMovie HD」で制作したものの場合、MPEG-4、iSight、16:9 のワイドスクリーンムービーを含み、フォーマットは問いません。
「iMovie HD」でムービーにチャプタマーカを追加することも、「iDVD」で一定の間隔ごとにチャプタマーカを追加することもできます。「iDVD」でこの設定を行うには、ムービーを選択して、「詳細設定」>「ムービーにチャプタマーカを作成」と選択します。チャプタマーカの間隔の値をボックスに入力して、「OK」をクリックします。
- スライドショーに使うイメージ（iPhoto ライブラリ内）
- オーディオファイル（iTunes ライブラリ内）
- SuperDrive を搭載したコンピュータ
（プロジェクトを DVD に書き込まない場合は、必要ありません。）

ビデオだけで写真がない場合や、写真だけでビデオがない場合でも、このチュートリアルは使用できます。最終的な結果は異なりますが、ディスクに書き込めるプロジェクトが完成することには変わりありません。楽しみながら、いろいろと試してみてください。

変更を取り消す

DVD をデザインする場合、当然さまざまな微調整や変更を何度も加えることとなります。「編集」>「取り消し」と選択すると、保存していないあらゆる変更を取り消すことができます。それまでに行った編集を 1 つ 1 つさかのぼり、必要なだけ何度でも取り消しを実行することが可能です。いつでも好きなときに保存したテキストやその他のデザイン要素を削除したり、新しいデザインを加えることによりプロジェクトを修正したりできます。

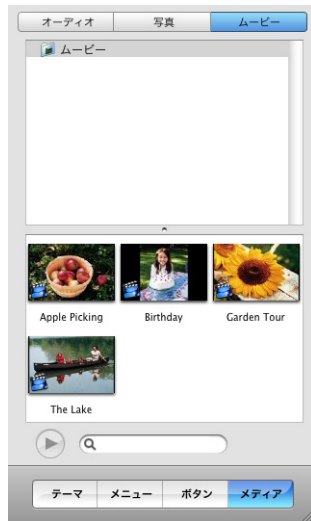
ステップ 1：チュートリアルで使うムービー、写真、オーディオファイルを見つける

プロジェクトを新規作成する前に、プロジェクトで使用するムービー、写真、およびオーディオファイルが準備できていること、およびそのフォーマットが「iDVD」で使用できるものであることを確認してください。以下のメディアは自動的に正しいフォーマットで作成されます：

- 「iMovie HD」で制作したムービー
- ミュージックファイル（iTunes ライブラリ内）
- 写真（iPhoto ライブラリ内）

使用できるかどうか分からないファイルがある場合は、「iDVD ヘルプ」で「ファイルフォーマット」を検索してください。

「iTunes」や「iPhoto」のライブラリに曲や写真を追加したことがあれば、以下に示すように、「iDVD」の「メディア」パネルからこれらのメディアを開くことができます。「iTunes」および「iPhoto」以外のフォルダにオーディオおよびイメージファイルがある場合は、「iDVD」でプロジェクトを開いた後、これらのフォルダを「メディア」パネル内の写真またはオーディオファイルのリストにドラッグすることができます。



ハードディスクの「ムービー」フォルダにあるムービーは、自動的に「メディア」パネルに表示されます。また、ハードディスクのほかのフォルダに保存したムービーを、ムービーリストにドラッグすることもできます。

ご存じですか？ — 「メディア」パネルにほかのムービーフォルダを追加する

「iDVD」の「環境設定」で、参照したいフォルダを指定できます。指定したフォルダに保存したムービーは、「メディア」パネルのムービーリストに自動的に追加されます。詳しい方法については、iDVD ヘルプで「メディアを追加」を検索してください。

ステップ 2：新規プロジェクトを作成する

使用できる状態のミュージック、ムービー、および写真をすぐにアクセスできる場所に集めたら、準備完了です。

新規 iDVD プロジェクトを開くには：

- 「iDVD」が開いていない場合は、「Dock」にある「iDVD」アプリケーションアイコンをクリックします。「iDVD」を初めて開くのであれば、ダイアログの「新規プロジェクトを作成」ボタンをクリックします。
- 開始ダイアログが開いていない場合は、「ファイル」>「新規」と選択します。新規プロジェクトを保存する場所を選択して、「作成」をクリックします。



iDVD ウィンドウが開いた際にアニメーションメニューとサウンドが再生される場合は、「モーション」ボタンをクリックすると（下の図を参照）、アニメーションとサウンドが停止します。



参考： Magic iMovie を作成し、ムービーを「iDVD」に送信するチェックボックスを選択した場合、「ムービーを再生」ボタンと「シーンの選択」ボタン付きの iDVD プロジェクトが開かれているはずですが。次のセクションの手順に従って DVD に使用するテーマを選び、20 ページの「ステップ 6：メニューのテキストの外観を変更する」まで読み進めてください。

エンコード品質を設定する

「iDVD」はディスクを作成する前に、プロジェクトの情報をエンコードします。DVD 作成時にはエンコードに多少の時間が割かれるので、ムービーの作業中にバックグラウンドでエンコードを行うよう「iDVD」の「環境設定」を設定することをお勧めします。

エンコード品質を設定するには：

- 「iDVD」 > 「環境設定」と選択し、「デフォルト」をクリックします。次の中からエンコーダの設定を選びます。

「処理能力を優先する」を選ぶと、「バックグラウンドエンコーディングを有効にする」チェックボックスの選択が可能になります。この設定により、プロジェクトでの作業と平行して、バックグラウンドでファイルがエンコードされます。コンピュータのリソースを最大限に活用して、DVD 作成にかかる時間を短縮することができます。ビデオの長さが 60 分以内の場合や、早くディスクが欲しい場合に便利です。

できるだけ高品質の作品に仕上げたい場合（またはビデオの長さが 60 分を超える場合）、「品質を優先する」を選択します。プロジェクトをディスクに書き込む準備が整うと、「iDVD」はビデオの容量を計算し、特に問題がない限り、なるべく品質を高めるように設定を行った上でディスクを作成します。DVD の作成には時間がかかりますが、その品質は最適化されます。

DVD の品質に最も影響するのは、元の素材の品質です。インターネットからダウンロードした QuickTime ムービーや VHS ビデオなど低解像度の素材の場合、DV または HDV ビデオカメラで撮影して「iMovie HD」、「Final Cut Express」、「Final Cut Pro」などのビデオ編集ソフトウェアで編集したビデオのような美しい映像は得られません。

ご存じですか？ — 新規プロジェクトを作成する

iDVD プロジェクトを開始するには次の方法も使えます：

- 「iMovie HD」の「iDVD」ボタンをクリックして、そのムービーが含まれる iDVD プロジェクトを開きます。「iMovie」で制作したムービーを開くリンクがメインメニューにある DVD を作成したい場合にこの方法を使います。
- 「iMovie HD」を起動し、Magic iMovie 機能で自動生成したムービーを iDVD プロジェクトに転送します。
- 「iPhoto」からスライドショーを直接「iDVD」に転送して、スライドショーボタン付きのプロジェクトを作成します。

ステップ 3 : DVD テーマを選択する

テーマとは、再生時の DVD の見え方を決めるメニューのデザインです。テーマは、DVD メニューに表示される背景イメージまたは背景ムービーと、タイトルおよびボタンラベルに使うボタンスタイル、フォント、サイズ、位置を組み合わせたものです。テーマファミリーとは、サブメニューに統一した外観を与えるメニューデザインの集まりです。

「iDVD」に付属しているテーマの 1 つを使うことも、カスタマイズして独自のテーマを作成することもできます。このチュートリアルでは「iDVD」の既存のテーマを選択してカスタマイズする方法を説明します。

参考：スムーズにステップを追えるように、チュートリアルでは指定されたテーマを使用してください。異なるテーマを選択すると、順番通りにステップをたどれない場合があります。チュートリアルを終了したら、DVD を作成する前に、学習した内容を元に別のテーマを選択するなどの変更が可能です。

DVD メニューのテーマを選択するには：

- 1 iDVD ウィンドウの下部にある「テーマ」ボタンをクリックします。iDVD ウィンドウの右側に「テーマ」パネルが表示されます。
- 2 スクロールバーを上下に移動してテーマを表示します。
アニメーションやサウンドを含むテーマでは、サムネールの右下に「モーション」ボタンに似たモーションアイコンが表示されます。
- 3 ポップアップメニューをクリックして「4.0 テーマ」を選択し、スクロールして「Fish」を見つけます。
- 4 テーマの脇にある三角ボタンをクリックして、「メイン」をプロジェクトで使用するように選択します。

このテーマは背景にモーションが含まれているため、右下隅に小さなモーションアイコンが表示されます。いくつかのテーマには自動再生ムービーという短いムービーも設定されていて、メインの DVD メニューが表示されるまでの間、これが再生されます。自動再生ムービーを含むテーマでは、サムネールの左上に自動再生アイコンが表示されます。



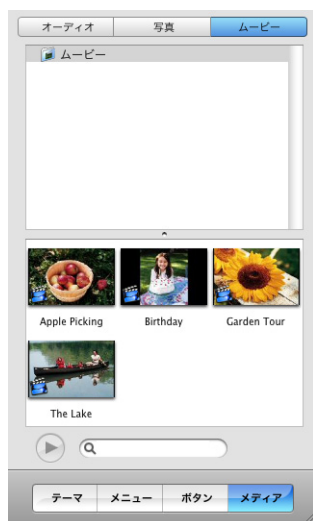
ステップ 4：ムービーやシーン選択メニューを追加する

テーマを選択したら、iDVD プロジェクトにムービーやその他のコンテンツを追加することができます。ここではチャプタマーカ付きのムービーを追加して、DVD の再生中、特定の場面にジャンプできるようにしてみましょう。これはハリウッドスタイルの DVD によく見られる機能です。

チャプタマーカを含むムービーをメニューにドラッグすると、「iDVD」によってチャプタマーカが認識され、各チャプタにリンクしたボタンを含んだ「シーン選択メニュー」が自動的に作成されます。

チャプタマーカを含むムービーを追加するには：

- 1 「メディア」 ボタンをクリックします。
- 2 「メディア」 パネルの上部にある「ムービー」 ボタンをクリックします（下の図を参照）。



- 3 「ムービー」 フォルダを選択します。フォルダ内のムービーのサムネールが、パネルの下部に表示されます。
- 4 ムービーリストから、チャプタマーカ付きムービーを iDVD ウィンドウの左側にあるメニューの背景にドラッグします。

「Fish」のメインメニューでは、メニューの背景、つまり額縁、砂、そして魚のムービーだけが表示されます。

重要：ムービーをドラッグしたときに額縁に点線が表示される場合は、点線が消えるまでマウスポインタを動かしてからムービーをドロップしてください。点線はドロップゾーンというメニューの特殊な領域を表しています。ドロップゾーン上に追加すると、DVD 本来の中身ではなく、メニューの背景として表示されるムービーになってしまいます。



チャプタマーカを含むムービー追加すると、DVD メニューのタイトルがムービーの名前に変わり、2つのボタンが自動的に作成されます。上の図には、ムービー全体を再生するための「Play Movie」ボタンと、シーン選択メニューにリンクしている「Scene Selection」ボタンが表示されています。

チャプタマーカのないムービーでは、タイトルは変わらず、追加したムービーの名前がラベルされたボタンが1つだけ表示されます。ドロップゾーンには「ドロップゾーン 1」と表示されています。

タイトルとボタンのテキストは簡単に変更できます。この例では、タイトルを「Vacations」に変えます。

タイトルのテキストを変更するには：

- タイトルをダブルクリックして「Vacations」と入力します。

シーン選択メニューとは、リンク元のメインメニューのボタンを含むサブメニューのことです。ボタンをダブルクリックして、内容を見てみましょう。このメニューでは、「Fish」テーマのチャプタメニュー用テーマの「チャプタ」を使用しています。下に示すシーン選択メニューの各ボタンの画像には、リンク先のシーンに含まれるフレームの1つが使用されます。



サブメニューには戻るボタン（上図の矢印）があり、表示されているメニュー階層の位置を示します。チャプタが多すぎて1つのシーン選択メニューに収まらない場合、次のシーン選択メニューに進むためのボタンも表示されます。

サブメニューもメインメニューと同じように編集できます。たとえば、うまく収まるようにボタンラベルのテキストを変更するなどします。ボタンラベルのテキストは、メインメニューのタイトルと同じように変更できます。このチュートリアルでは、後ほどボタンの外観およびボタン上の画像の変更方法について説明します。

ご存じですか？ — 新しいサブメニューを手動で追加する

1つのメニューにはボタンを12個まで追加できます。13個以上のボタンが必要な場合は、サブメニューを作成して追加します。サブメニューを使って、複数のセクションに分割されたDVDを作成することもできます。たとえば、シーン、特典映像、そしておまけのムービーやスライドショーを見せたい場合、これらのコンテンツにリンクしたボタンが追加されたサブメニューを作成します。

サブメニューを追加するには：

- サブメニューを追加するメニューを表示しておき、「追加」ボタン（下の図）をクリックして、ポップアップメニューから「サブメニューを追加」を選択します。



「My Submenu」というボタンが表示されます。新しいサブメニューには、リンク元のメニューと同じテーマが設定されます。テーマはそのまま使用することも、カスタマイズすることもできます。また別のテーマを選択することも可能です。

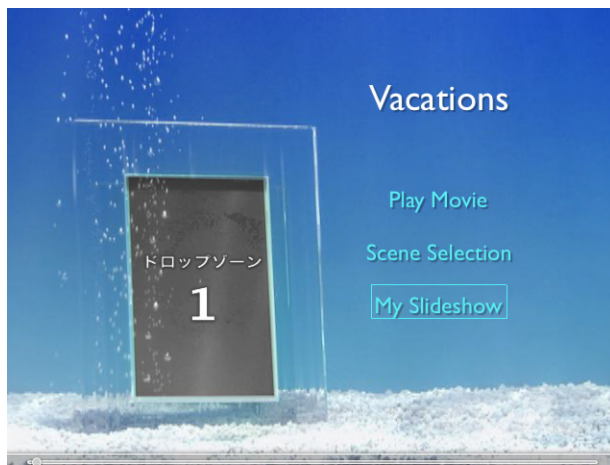
ステップ5：スライドショーを追加する

スライドショーを使うと、写真を見栄えよく表示することができます。「iPhoto」で作成したスライドショーを使うことも、ピクチャのグループから「iDVD」を使ってスライドショーを作成することもできます。このステップでは、「iDVD」を使って写真のスライドショーを作成し、サウンドトラックを追加します。

「iDVD」でスライドショーを作成するには：

- 1 メインメニューが表示されていない場合、戻るボタン（メニューの矢印）をクリックしてメインメニューに戻ります。
- 2 iDVD ウィンドウの下部にある「追加」ボタンをクリックし、ポップアップメニューから「スライドショーを追加」を選択します。メニューに「My Slideshow」というボタンが表示されます。

メニューの外観が以下のように変わります。



- 3 「My Slideshow」をクリックして選択し、「More Photos」と入力します。
- 4 テキスト領域の外側をクリックしてテキストの選択を解除してから、「My Slideshow」ボタンをダブルクリックしてスライドショーエディタを開きます。

「イメージをここにドラッグしてください」と書かれた空の画面がスライドショーエディタです（下の図を参照）。この画面が表示されない場合は、1 度目とはスピードを変えてボタンを再度ダブルクリックしてみてください。



- 5 「メディア」ボタンをクリックして「メディア」パネルを開き、パネルの最上部にある「写真」をクリックします。

参考：「iPhoto」で写真を読み込んだことがない場合は、リストに写真は表示されません。「iPhoto」を開いて好きな写真を読み込んでみてください（「メディア」パネルで別の項目の表示に切り替えてから「写真」に戻ると、「写真」パネルにイメージが表示されます）。また、ハードディスクの別の場所にある写真を直接スライドショーエディタにドラッグすることもできます。

- 6 写真を、1枚ずつ、または複数枚まとめて、画像リストからスライドショーエディタにドラッグします。アルバムをそのままスライドショーエディタにドラッグすることもできます。

- 7 表示する順序に写真を並び変えます。

スライドショーエディタ内で写真をドラッグすると、順序が変わります。写真を削除するには、削除する写真を選択して、キーボードの Delete キーを押します。

- 8 写真から写真への転換をスムーズに見せるために、トランジションを追加します。「トランジション」ポップアップメニューをクリックして、いろいろなトランジションを試し、イメージにあったものを見つけてください。



- 9 「設定」をクリックし、スライドショーエディタ内のさまざまな設定を使用して目的にあった効果を追加してください。

- スライドショーを繰り返し再生する場合は、「スライドショーを繰り返す」を選択します。
- スライドショーにナビゲーション用の矢印を表示するには、「ナビゲーション用の矢印を表示」を選択します。
- オリジナルのスライドのコピーをディスクの DVD-ROM 部分に追加するには、「DVD-ROM にファイルを追加」を選択します。
- イメージの下のタイトルやコメントを非表示にするには、「タイトルとコメントを表示」の選択を解除します。イメージの下にタイトルやコメントを追加していない場合でも、この設定はそのままかまいません。スライドショーで表示されるのは入力したテキストのみです。

- 10 「メディア」パネルの上部にある「オーディオ」ボタンをクリックして、スライドショーにサウンドトラックを追加します。

オーディオリストには、iTunes ライブラリのコンテンツと、「GarageBand」で作曲した音楽がすべて表示されます。「iTunes」に音楽を読み込んだことがない場合、オーディオリストには何も表示されません。

- ▶ ヒント：**検索ボックスに曲名を入力すると、特定の曲をすばやく検索することができます。「メディア」パネルの下部にある「再生」ボタンをクリックすると、DVD に追加する前に、その曲を聞くことができます。

- 11 使いたい曲が見つかったら、下に示すスライドショーエディタの「オーディオ」ウェルにその曲をドラッグします。



「オーディオ」ウェルに曲をドラッグすると、「スライド継続時間」ポップアップメニューが自動的に「オーディオに合わせる」に設定されます。これによって、スライドショーとミュージックの再生が同時に開始され、また同時に終了するようになります。必要に応じて変更することができます。

- 12 「プレビュー」ボタンをクリックして、スライドショーを確認します。確認が終了したら、リモコンの「exit」をクリックして、スライドショーエディタを終了します。



イメージ通りのスライドショーができあがるまで、いろいろと設定を変えてみましょう。サウンドトラックのボリュームが大きすぎたり小さすぎたりしたら、スライドショーの音量つまみ（上の図を参照）をドラッグしてボリュームを調整します。

- 13 スライドショーエディタの「戻る」ボタンをクリックしてエディタを終了し、メインメニューに戻ります。
- 14 「ファイル」 > 「プロジェクトを保存」と選択して、作業内容を保存します。

ご存じですか？ — コピー可能な写真やファイルを追加する

DVD から画像などのファイルをダウンロードできるようにするには、ファイルのコピーを DVD の DVD-ROM 部分に追加します。

DVD-ROM コンテンツにファイルを追加するにはいくつかの方法があります：

- スライドショーエディタで、「設定」をクリックしてから「DVD-ROM にイメージファイルを追加」を選択します。
- 「詳細」 > 「DVD-ROM のコンテンツを編集 ...」と選択し、ファイルを「DVD-ROM のコンテンツ」ウインドウヘドラッグします。

DVD-ROM のコンテンツについて詳しくは、「iDVD ヘルプ」を参照してください。

ステップ6：メニューのテキストの外観を変更する

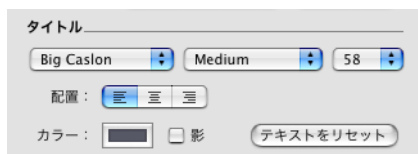
DVD プロジェクトにいろいろなコンテンツを追加し終えたら、メインメニューのタイトルを少し変更してみましょう。メニューやボタンのテキストは、フォント、サイズ、および色を変えることができます。また、テキストの位置を変えてメニュー内にうまく収めたり、説明のためのテキストを追加することも可能です。このステップでは、サブタイトルを追加し、テキストの外観やメニュー内の位置を変更してみます。

テキストをカスタマイズするには：

- 1 メインメニューが開いていることを確認して、「プロジェクト」>「テキストを追加」と選択します。上書き入力できるプレースホルダテキストが表示されます。
- 2 プレースホルダテキストをクリックしてサブタイトルを入力します。下の図では、「A Year of Fun」というサブタイトルが入力されています。



- 3 「メニュー」 ボタンをクリックして、「メニュー」 パネルのテキストセクションを探します。ポップアップメニュー（下の図を参照）から、フォント、テキストのスタイル（ボールドやイタリックなど）、およびサイズが変更できます。



- 4 サイズのポップアップメニューをクリックして小さいサイズを選び、サブタイトルがメインタイトルの下に収まるようにします。
- 5 「カラー」 ボックスをクリックして、「カラー」 ウィンドウを開きます。「カラー」 ウィンドウからさまざまな色を試してみましょう。

メニューのテキストの色がクリックした色に合わせて変わります。使いたい色が見つかったら、「カラー」ウインドウを閉じます。

変更を元に戻してはじめてやり直す場合は、「テキストをリセット」をクリックします。

- 6 テキスト領域の外をクリックしてサブタイトルの選択を解除して、タイトルの下にドラッグします。下のサブタイトルに合わせてメインタイトルの位置を変更する場合は、タイトルのテキストをドラッグします。

下のメニューには、新しいタイトルとサブタイトルが表示されています。



- ▶ **ヒント**：メニュー上のあらゆるテキストオブジェクト（クリックできないテキスト）は、選択してドラッグすることで位置を変更できます。

ご存じですか？ — テレビにテキストが表示できるかを確認する

テレビ画面によってはメニューがすべて表示されないことがあります。アウトラインをメニューに重ねて、テレビ画面に表示される部分を確認することができます。これを TV セーフゾーンと呼びます。

TV セーフゾーンを表示するには：

- 「詳細」 > 「TV セーフゾーンを表示」と選択します。



ステップ 7：メインメニューをカスタマイズする

ムービー、シーン選択メニュー、そしてスライドショーにリンクするボタンの付いたメニューが完成したら、メニューをカスタマイズして DVD の外観にさらに磨きをかけましょう。このステップでは「Fish」のメインメニューの背景にイメージを追加し、メインメニューのボタン、ムービー、およびスライドショーにトランジションを追加する方法について説明します。

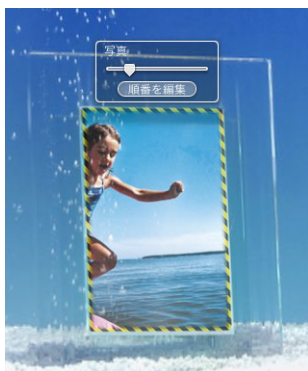
背景にイメージを追加する

イメージ、イメージのグループ、およびムービーをドロップゾーンと呼ばれるテーマごとに番号とラベルの付いた領域にドラッグすると、これらのコンテンツをメニューの背景に配置できます。ドロップゾーンはスライドショーやムービーを再生するためのボタンではなく、メディアを追加してメニューの背景を目立たせるための領域です。

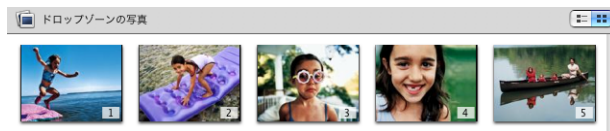
「Fish」のメインメニューでは、額縁のなかにドロップゾーンがあります。額縁の中では、静止画を表示したり、ビデオを繰り返し再生したり、何枚かのイメージを追加してスライドショーのように見せたりできます。

ドロップゾーンにスライドショーを追加するには：

- 1 「メディア」 ボタンをクリックし、「メディア」 パネルの上部の「写真」をクリックします。
 - 2 写真アルバムまたはピクチャのフォルダを、写真リストからメニューのドロップゾーンにドラッグします。マウスポインタをドロップゾーンに合わせ、点線が表示されたらマウスボタンを放します。リストから複数のピクチャを選択するには、コマンドキー（Apple ロゴのあるキー）を押しながら選択するピクチャをクリックします。選択できたらコマンドキーを放し、ピクチャをドロップゾーンにドラッグします。
- ▶ **ヒント：**ドロップゾーン内のイメージをドラッグすると、位置を変更できます。
- 3 ドロップゾーンに表示された最初のイメージをクリックします。
- クリックしたイメージの上に、「写真」パネル（下の図を参照）が表示されます。「写真」パネルを使ってスライドショーを修正できます。



- 4 「写真」パネルのスライダをドラッグして、ドロップゾーン内のイメージを表示します。イメージの順序を変えるには、「順番を編集」をクリックして、ドロップゾーンの写真エディタ（下の図を参照）を開きます。



- 5 イメージをドラッグして表示させる順番に並び替え、不必要なイメージがあれば削除します。ドロップゾーンの写真エディタにはその他のイメージをドラッグすることもできます。
- 6 作業が終了したら、「戻る」ボタンをクリックします。

参考：スライドショーの代わりに、短いムービーや1枚だけの静止画を追加することもできます。短いムービーの場合はドロップゾーン内で繰り返し再生されます。静止画ならばドロップゾーンに合わせて表示されます。

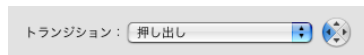
- 7 「プレビュー」ボタンをクリックしてイメージを再生します。イメージは繰り返し再生（ループ再生）されるため、確認が終わったら、DVDリモコンの「exit」ボタンをクリックします。
- 8 「ファイル」>「保存」と選択して、作業内容を保存します。

トランジションを追加する

コンテンツと見栄えのよいメニューが完成しました。ここにトランジションを追加すれば、メニューボタンをクリックしたときにムービーやスライドショーにスムーズに切り替わるため、DVDの出来栄がさらに向上します。

メインメニューにトランジションを設定するには：

- 1 メニュー上のボタンを1つクリックして選択し、「編集」>「すべてのボタンを選択」と選択します。
- 2 「ボタン」をクリックして「ボタン」パネルを開きます。
- 3 「トランジション」ポップアップメニューから「押し出し」を選択します（下の図を参照）。



- 4 「トランジション」ポップアップメニューの隣にある矢印ボタンのいずれかをクリックして、トランジションの方向を設定します。

参考：矢印ボタンをクリックできるのは、方向を設定できるトランジションに限られます。

- 5 「プレビュー」ボタンをクリックし、DVDリモコンでメニューボタンを1つずつ選択して結果を確認します。完了したら、DVDリモコンの「exit」をクリックします。
- 6 「ファイル」>「保存」と選択して、プロジェクトを保存します。

ご存じですか？ — ドロップゾーンにコンテンツを簡単に入力する

テーマによっては、複数のドロップゾーンや、メニューの背景で動く動的なドロップゾーンがあります。「オートフィル」やドロップゾーンエディタを使うと、このようなドロップゾーンへの入力がすばやく簡単に行えます。

ドロップゾーンにコンテンツを自動入力するには：

- 「メニュー」 ボタンをクリックして、「オートフィル」 をクリックします。

ドロップゾーンエディタを開くには：

- ドロップゾーンをダブルクリックするか、「メニュー」 パネルの「ドロップゾーンを編集」 をクリックします。



ドロップゾーンエディタの使い方について詳しくは、「iDVD ヘルプ」を参照してください。

ステップ 8：ボタンの外観を変更する

ボタンのスタイルはテーマに合わせてデザインされています。このデザインは、コンテンツや個々のデザインコンセプトに合わせて変更できます。ボタンには、テキストだけのものもあれば、テキスト、静止画像、スライドショー、またはビデオが設定されたさまざまな図形として作成されたものもあります。イメージやビデオを使ってボタンを作成すると、DVD に目を引く効果を加えられます。1つのメニュー上で複数のボタンスタイルを組み合わせることもできます。

たとえば、シーン選択メニューのボタンを見てください。それぞれのボタンには、リンク先のビデオの最初のフレームが表示されています。プロジェクトをプレビューすると、ボタンの中でビデオが再生されます。

このステップでは、ボタンの形状を変更して、それぞれのボタンにイメージを選択します。

ボタンの形状を変更するには：

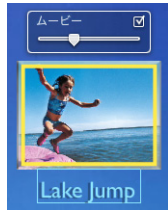
- 1 「シーンの選択」 ボタンをダブルクリックして、シーンメニューを開きます。
- 2 メニュー上のシーン選択ボタンを 1 つ選択し、「編集」 > 「すべてのボタンを選択」と選択します。
- 3 「ボタン」 をクリックして「ボタン」 パネルを開きます。
- 4 「ボタン」 パネルの上部にあるリストから、ボタンの形を選択します。

いろいろなボタンの形を試してみて、メニューに最適のボタンを見つけてください。「T」を選択すると、テキスト専用のボタンが作成されます。イメージ通りの形が見つかったら、次はボタン上のイメージを変更します。

ボタン上のイメージを変更するには：

- 1 ボタンをクリックすると、「ムービー」パネル（下の図を参照）が表示されます。

参考：ボタンがスライドショーにリンクしている場合、22 ページの「ステップ 7：メインメニューをカスタマイズする」で学んだ「写真」パネルが表示されます。



- 2 ボタンに表示したいフレームが表示されるまで、スライダを左右に移動します。

ボタンに動画を表示させない場合、「ムービー」パネルの隅にあるチェックボックスの選択を解除します。ボタンには選択したフレームだけが表示されます。

- 3 「ファイル」 > 「保存」と選択して、作業内容を保存します。

ご存じですか？ — カスタムテーマの作成

背景やBGM、テキスト、ボタンをカスタマイズした新しいメニューは、カスタムテーマとして保存することができます。カスタムテーマは、「テーマ」パネルの「よく使う項目」に表示されます。将来新しいプロジェクトで、ほかのテーマと同じようにして使うことができます。

テーマのカスタマイズについて詳しくは、「iDVD ヘルプ」を参照してください。

ステップ 9：マップビューでプロジェクトを整理する

メニューやサブメニューを追加するなどしてプロジェクトが複雑になると、プロジェクト全体を概観できれば非常に便利です。そのための機能がマップビューです。さらに、マップビューを使って、一括編集を実行したり、DVD に自動再生ムービーを追加したりできます。

このステップでは、マップビューを使って iDVD プロジェクトに自動再生ムービーを追加し、DVD マップの構成を確認します。

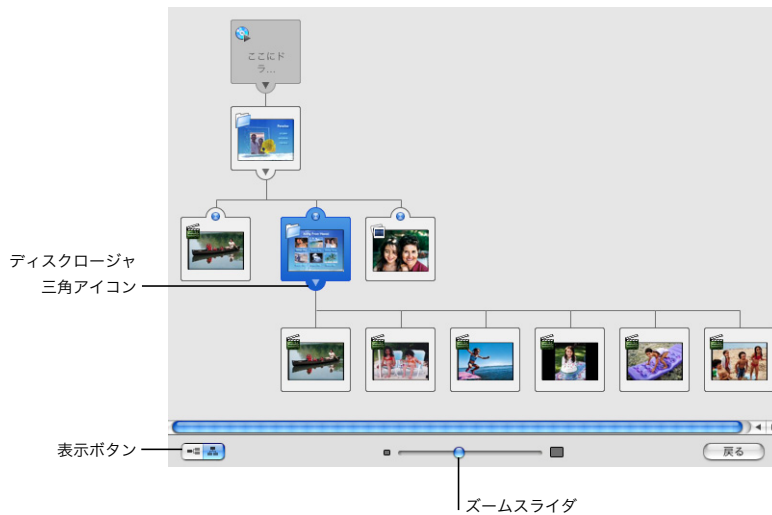
マップビューに切り替えるには：

- マップボタン（下の図を参照）をクリックします。



「マップ」ボタン

マップビュー（下の図を参照）では、プロジェクトを水平および垂直方向から概観できます。さらに、一部を折りたたんで非表示にすることにより、全体を見通しやすくすることができます。また、拡大して各アイコンの詳細を表示したり、縮小してプロジェクト全体を 1 つのウィンドウに表示したりすることも可能です。

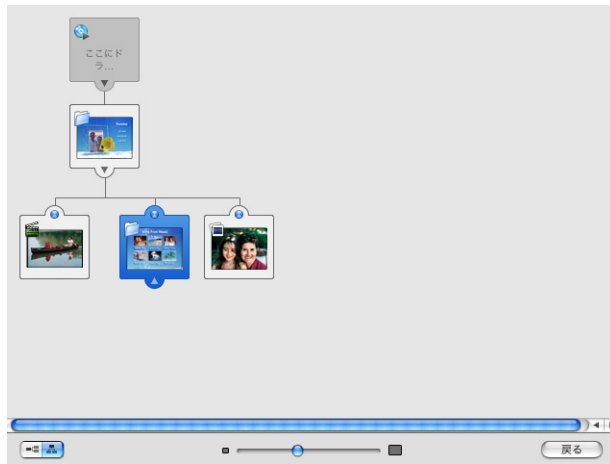


マップビューのアイコンやコントロールについて詳しくは、46 ページの「マップビュー」を参照してください。

マップビューのレイアウトを変更するには：

- 1 ウィンドウの左下にある表示ボタンをクリックして、マップビューの水平/垂直を切り替えます。
- 2 マップをスクロールして、ほかの項目がいくつかリンクされたメニューアイコンが表示されるようにします。たとえば、ムービー上のある場面にジャンプする、シーン選択メニューを探します。

- 3 ディスクロージャ三角アイコンをクリックすると、メニューの詳細が折りたたまれて非表示になり、マップが簡潔になります（下の図を参照）。



もう一度ディスクロージャ三角アイコンをクリックすると、マップが展開表示されます。

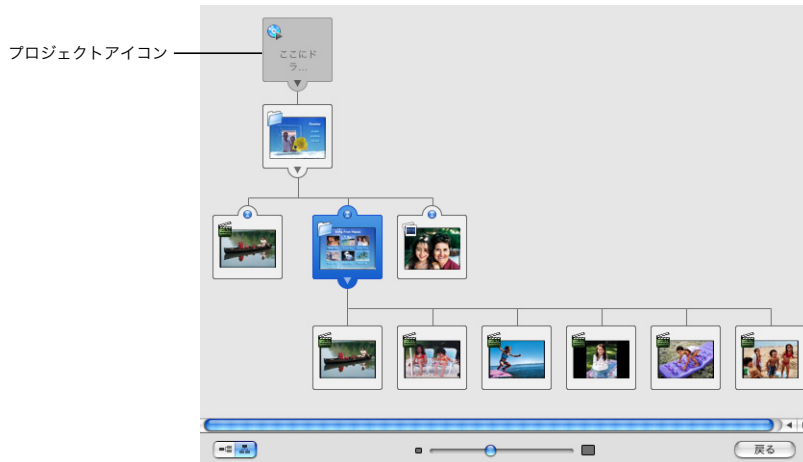
- 4 マップに表示する詳細情報の量を調節するには、ウインドウ下部のズームスライダを左右にドラッグします。

また、上下／左右方向のスクロールバーを動かしたり、マップそのものをドラッグしたりして、表示範囲を調整することも可能です。

自動再生ムービーを追加する

マップビューを使うと、自動再生ムービーを追加したり、テーマから自動再生ムービーを削除したりすることもできます。自動再生ムービーは、ディスクをドライブに挿入したとき、メインメニューが現れるまでの間再生されます。自動再生ムービーは一部のテーマにしか含まれませんが、どのテーマにも後から追加することができます。

たとえば、DVD メニューが表示される前に前書きやクレジットが表示されるスライドを作成することができます。



自動再生ムービーを追加するには：

- 1 マップの左上隅にあるプロジェクトアイコンを探します。
- 2 「メディア」 ボタンをクリックし、「写真」または「ムービー」 をクリックして、追加するコンテンツを選択します。
- 3 ムービーまたはイメージをプロジェクトアイコンにドラッグします。
- 4 「プレビュー」 ボタンをクリックするか、プロジェクトアイコンをダブルクリックして、追加した自動再生ムービーを確認します。作業が終了したら、DVD リモコンの「exit」 ボタンをクリックします。

自動再生ムービーを削除するには：

- プロジェクトアイコンからムービーをドラッグします。ムービーが消えてなくなります。

自動再生ムービーを削除してもプロジェクトアイコンは削除されません。ムービーまたはフォトアルバムをプロジェクトアイコンにドラッグすると、新しい自動再生ムービーを作成できます。

ご存じですか？ —DVD マップを編集する

DVD マップでは、プロジェクト全体を概観し、一度に複数の項目に変更を適用することが簡単にできます。つまり、一括編集が可能だということです。DVD マップで実行可能な操作の例を示します：

- 1つまたは複数のメニューの設定を一度にカスタマイズする。
- スライドショー、ムービー、またはメニューを直接プロジェクトに追加する。
- プロジェクト内の1つまたは複数のオブジェクトを一度に削除する。
- メニューから別のメニュー、ムービーまたはスライドショーへのトランジションを確認し、変更する。
- スライドショーアイコンをダブルクリックして、スライドショーエディタを開く。
- ムービーアイコンをダブルクリックして、ムービーを再生する。
- 1つのアイコンを1回だけクリックして選択し、メニューコマンドを使って変更を適用する。
- マウスをドラッグして複数のアイコンを選択し、メニューコマンドを使って選択したアイコンすべてに変更を適用する。

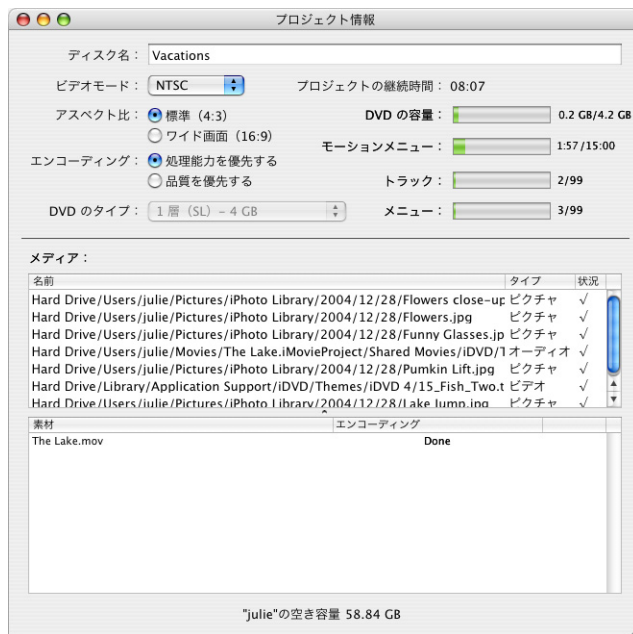
ステップ 10：DVD を作成する

iDVD プロジェクトが完成しました。最後の仕上げをほどこして、DVD ディスクを作成しましょう。ディスクを作成する前に、美しい仕上がりを確実にするためいくつかの操作が必要です。このステップでは、「プロジェクト情報」ウィンドウでプロジェクトのサイズを、DVD マップでエラーを確認します。また、エンコードの品質と状態を確認して、DVD ディスク作成の準備を行います。

「プロジェクト情報」ウィンドウを確認する

DVD プロジェクトを保存するには、ハードディスクの空き容量が大量に必要です。特に容量を多く空けておかなければならない場合、このことを忘れないでください。さらに、DVD ディスクの容量には限界があります。プロジェクトの作業を進める際、プロジェクトのサイズを常にチェックして、すべてが確実に容量内に収まるようにしてください。

「プロジェクト情報」ウィンドウ（下の図を参照）には、このようなさまざまな情報が表示されます。



プロジェクトのサイズを確認するには：

- 「プロジェクト」 > 「プロジェクト情報」と選択します。ウィンドウの上部には、4つのリソースメーターが表示されています。
 - 「DVDの容量」メーターには、DVDサイズが実行時間（すべてのメディアおよびトランジションの合計時間）または使用されるディスク容量で表示されます。テキストの右側をクリックして、分とGB（ギガバイト）の表示を切り替えます。
 - 「モーションメニュー」メーターには、プロジェクトに含まれるメニュー全体の合計時間が表示されます。ボタンや背景上のビデオといったモーションを含むメニューには、合計最大15分間を使用できます。
 - 「トラック」メーターには、使用したトラック（ムービーおよびスライドショー）の数が表示されます。自動再生のムービーおよびスライドショーも数に含まれます。トラック数は最大99までです。
 - 「メニュー」メーターには、プロジェクトで使われている静止メニューおよびモーションメニューの合計数が表示されます。メニュー数は最大99までです。

プロジェクトファイルを確認する

プロジェクトに追加した項目はすべて、ハードディスクなどの保存場所へのパスと共に、「メディア」リストに表示されます。

「タイプ」列には、「ピクチャ」や「オーディオファイル」などといった、項目の種類が表示されます。「状況」列のチェックマークは、その項目が実際に存在し、プロジェクトで有効になっていることを示します。その場所からオリジナルのファイルを移動すると、チェックマークも消えるので、移動されたことが一目でわかります。項目が消えていることに気づいた場合は、以下の操作によって修正できます：

- 項目を見つけ出し、元の位置に戻す。
- その項目にリンクしているボタンを削除する。
- 次回プロジェクトを開いて確認された際にファイルを指定する。

プロジェクト内のエラーを確認する

エラーを確認せずにプロジェクトのディスクを作成しようとすると、「iDVD」はエラーの有無を知らせるダイアログを表示します。このため、再生できない DVD の作成を防止することができます。ディスクを作成する前に、必ずエラーがないかどうか確認してください。

確実にエラーをチェックするには、プロジェクトのプレビューとテストを行うことです。すべてのボタンをクリックし、ビデオやスライドショーをすべて再生し、すべての要素が正しく機能するか確認してください。プロジェクトの容量が大きい場合、確認には時間がかかります。マップビューを使うと、プロジェクトの要点だけをチェックし、時間を節約することができます。

エラーをチェックするには：

- 1 「マップ」ボタンをクリックすると、プロジェクトがマップビューで表示されます。
- 2 メニューまたは素材のいずれかに問題があることを表す警告マーク（下の図を参照）がないかどうか確認します。
- 3 警告マークにポインタを置くと、エラーの説明が表示されます。



- 4 必要な修正を加え、マップビューに戻って警告マークが消えたことを確認します。
- 5 プロジェクトを保存します。

DVD を作成する

iDVD プロジェクトが完成したら、テレビに表示したり、DVD ドライブ搭載コンピュータで再生するために、その内容を DVD に書き込むことができます。必ずプロジェクトが完成したことを確認してからディスクを作成してください。「iDVD 6」は次の種類のディスクに対応しています：

- DVD-R：書き込みは 1 回だけ可能です。
現在販売されているほとんどの DVD プレーヤーやコンピュータで再生できるのでお勧めです。約 4.38 GB（ギガバイト）まで格納できます。
- DVD+R：書き込みは 1 回だけ可能です。
これも約 4.38 GB まで格納できます。
- DVD-RW：複数回の書き込みが可能です。
「RW」は「rewritable（再書き込み可能）」を表します。約 4.38 GB まで格納できます。
- DVD+RW：複数回の書き込みが可能です。
約 4.38 GB まで格納できます。ただしこの種類のディスクを再生できない DVD プレーヤーもあります。
- DVD+R DL（2 層）：1 層式のディスクのほぼ 2 倍のコンテンツを格納できますが、古いタイプの DVD プレーヤーでは再生できません。

DVD を作成するには：

- 「ディスクを作成」ボタン（下の図を参照）をクリックします。ディスクの挿入指示が表示されたら、ドライブに空のディスクを挿入します。

「iDVD」でディスクへの書き込みが行われます。



ディスク作成にかかる時間は、ディスク上のビデオの量とコンピュータの実行速度によって異なります。プロジェクトのサイズおよび複雑さによっては、数時間または一晩かかる場合もあります。

書き込み処理中は「進行状況」ダイアログに、「準備中」「メニューの処理」「スライドショーの処理」「ムービーの処理」「作成」の 5 段階で状況が表示されます。

ご存じですか？ — 完成したプロジェクトを保存する

ディスクにすぐに書き込めない場合や、完成したプロジェクトをほかのコンピュータに移動したり、バックアップとして保存しておきたい場合は、ディスクイメージの形でアーカイブまたは保存することができます。

プロジェクトをアーカイブすると、プロジェクトファイル内のすべての要素がまとめられリンクが維持された状態で、プロジェクトのコピーが作成されます。プロジェクトのサイズが大きい場合はアーカイブに時間がかかる場合がありますが、一度アーカイブを作成すると、ファイルを別のコンピュータやハードディスクに移動し、その後はいつでもそのファイルを開いて追加編集したり、DVD に書き込んだりすることができます。

プロジェクトのディスクイメージを保存するという事は、完成した DVD のようにフォーマットされたファイルを作成することを意味します。異なるのは、実際にディスクに書き込まれていない点だけです。すべてのメディアは DVD で使われるフォーマットにエンコードされており、ディスクイメージのアイコンをダブルクリックすることでコンピュータ上で再生することができます。ディスクイメージは、別のコンピュータやハードディスクに移動することはできますが、それ以上編集することはできません。準備ができたなら、Mac OS X の「ディスクユーティリティ」を使って、ディスクイメージを DVD に書き込むことができます。

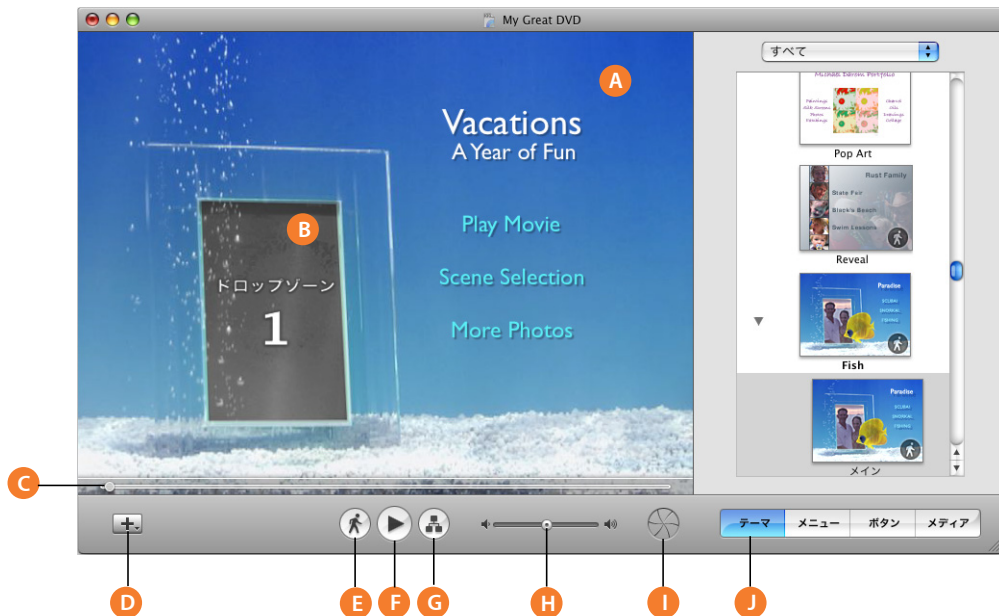
アーカイブおよびディスクイメージの作成について詳しくは、「iDVD ヘルプ」で、「プロジェクトのアーカイブ」や「プロジェクトをディスクイメージとして保存」を検索してください。

この章では、「iDVD」の各ウインドウ上で使えるツールの使い方について紹介します。作業の際に参照してください。

「iDVD」のプロジェクトで作業をするとき、作成中のメニューがメインウインドウに表示されます。さまざまな編集パネル内のコントロールを使って、メニューとボタンをデザインします。

以降のページでは、「iDVD」のコントロールについて紹介します。「iDVD」の各コントロールの名前を覚えれば、「iDVD ヘルプ」の指示に従って楽に操作できるようになります。

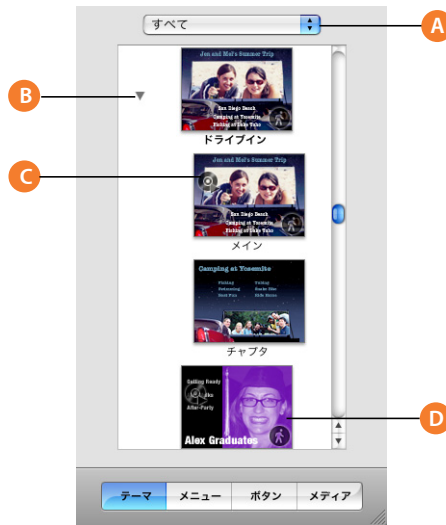
iDVD ウィンドウ



- A DVD メニュー：作成中の DVD メニューがここに表示されます。ムービー、ピクチャ、オーディオファイルをこの領域内にドラッグすれば、ムービーやスライドショーの再生ボタンを追加したり、背景の外観やサウンドを変更したりすることができます。
- B ドロップゾーン：一部のテーマにはドロップゾーンという特殊な領域があり、そこに DVD メニューの背景の一部として再生されるイメージやショートムービーを配置できます。
- C 移動バーとモーション再生ヘッド：再生ヘッドを移動バーに沿ってドラッグすると、モーションメニューの動きがゆっくりと再現されます。動的なドロップゾーン（移動するドロップゾーン）が組み込まれたテーマの場合、その動きの途中で再生ヘッドを止め、ムービーや写真をドラッグすることができます。
- D 追加ボタン：クリックすると、DVD メニューからリンクさせるコンテンツ用のボタンが追加されます。スライドショー、ムービー、またはサブメニューが追加できます。
- E 「モーション」ボタン：クリックして作業中のモーションおよびサウンドのオン/オフを切り替えます。これにより、モーションメニューでの作業が簡単になります。
- F 「プレビュー」ボタン：クリックすると、制作中の DVD がプレビュー表示されます。プレビューモードでは、DVD プレーヤーのリモコンが画面に表示されます。これを使ってメニュー内を移動したり、テレビ画面で見ると同じようにスライドショーやムービーを再生できます。
- G 「マップ」ボタン：クリックすると、制作中の DVD のマップビューが開きます。マップビューを使うと、制作中の iDVD プロジェクトを編集したり、プロジェクト内を移動したりすることが簡単にできます。
- H 音量スライダ：このスライダを動かすと、「iDVD」での作業中にコンピュータの音量を調整できます。完成した DVD プロジェクトの音量には影響しません。
- I 「ディスク作成」ボタン：iDVD プロジェクトが完成したら、このボタンをクリックして DVD ディスクを作成します。
- J 編集パネル：これらのボタンをクリックすると、「iDVD」の編集パネルが開きます。

「テーマ」パネル

「テーマ」パネルを使用してプロジェクトに使用するテーマを選択します。テーマのリストからテーマを選択すると、そのテーマがiDVD ウィンドウに表示されます。「テーマ」パネルを表示するには、iDVD ウィンドウで「テーマ」ボタンをクリックします。



- A テーマセット：テーマファミリーを選択してプレビューするか、「すべて」を選択してすべてのテーマを一度に表示します。
- B テーマリスト：リストに表示されるテーマをスクロールして、作成中のメニューに使うテーマを1つ選択します。テーマファミリーの横の三角ボタンをクリックすると、そのテーマのメニューがすべて表示されます。
- C 自動再生アイコン：メニューを表示する前にムービーが再生されるテーマには、サムネールの角に自動再生アイコンが付きます。
- D モーションアイコン：背景にムービーが表示されるテーマには、サムネールの角にモーションアイコンが付きます。

「メニュー」パネル

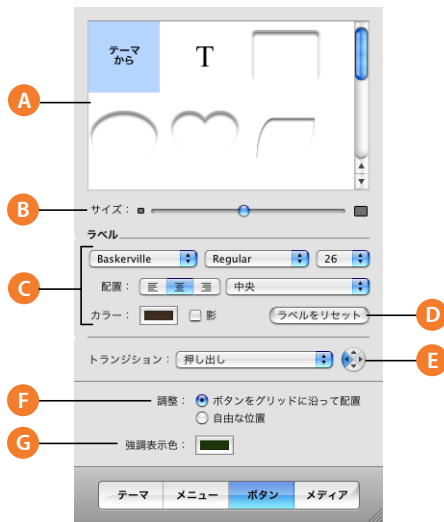
メニューやドロップゾーンにコンテンツを追加したり、メニューのテキストの外観を編集するには、「メニュー」パネルを使用します。「メニュー」パネルを表示するには、iDVD ウィンドウで「メニュー」ボタンをクリックします。



- A 「背景」ウェル：このウェルにイメージやムービーをドラッグすると、そのイメージやムービーが作成中のDVDメニューの背景として表示されます。
- B 「オーディオ」ウェル：サウンドファイルをここへドラッグすると、そのファイルが作成中のDVDメニューのBGMとして再生されます。スピーカーアイコンをクリックすると、作業中にサウンドをオン/オフにできます。
- C 「背景ムービーの開始/終了」コントロール：カスタムビデオをメニューの背景に使う場合は、三角形をクリックして「背景ムービーの開始/終了」スライダを表示します。左半分のスライダをドラッグしてビデオの開始を設定します。右半分のスライダをドラッグしてビデオの終了を設定します。
- D 繰り返しの継続時間：「繰り返しの継続時間」スライダをドラッグして、繰り返し（または「ループ」）までの間の背景ビデオを再生する時間を設定します。
- E 「メニューの音量」スライダ：このスライダをドラッグして、背景のオーディオを再生する音量を設定します。この調整により、作成するDVDの音量に影響します。
- F ドロップゾーンコントロール：イメージやムービーをリストのドロップゾーンにドラッグして配置するか、「ドロップゾーンを編集」ボタンをクリックして、ドロップゾーンエディタを開きます。「オートフィル」をクリックすると、メニューのドロップゾーンにプロジェクトのイメージが自動的に入力されます。
- G タイトルテキストコントロール：これらのコントロールを使うと、メニュータイトルおよびテキスト要素でのテキストの表示方法をカスタマイズできます。ポップアップメニューをクリックして、フォント、フォントスタイル、またはフォントサイズを変更します。メニューのテキストの位置揃えも設定できます。また、テキストに影を追加したり、「カラー」ボックスをクリックしてテキストの色を変更することもできます。
- H 「テキストをリセット」ボタン：クリックすると、テキストに加えた変更をすべて取り消して、テーマの設定に戻ります。

「ボタン」パネル

「ボタン」パネルでは、メニュー上のボタンの形状、サイズ、位置、および色を設定します。「ボタン」パネルを表示するには、iDVD ウィンドウで「ボタン」ボタンをクリックします。



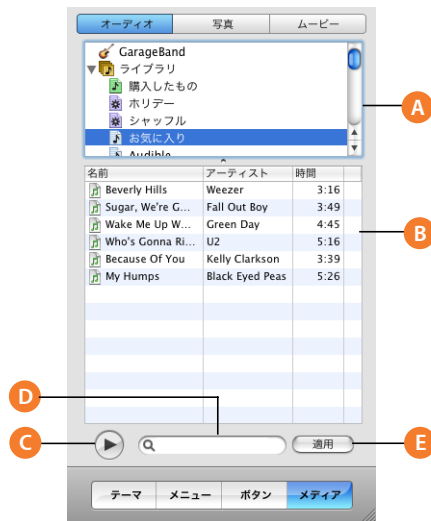
- A 「ボタン」リスト：このリストからボタンの形状を選択します。「T」を選択すると、テキスト専用のボタンが作成されます。テーマによって、設定できるボタンの形は異なります。
- B 「サイズ」スライダ：このスライダをドラッグして、選択したボタンのサイズを変更します。
- C ラベルテキストコントロール：これらのコントロールを使用して、ボタンに付けるテキストラベルの外観をカスタマイズします。ポップアップメニューをクリックして、フォント、フォントスタイル、またはフォントサイズを変更します。ボタンのテキストの位置揃えも設定できます。また、テキストに影を追加したり、「カラー」ボックスをクリックしてテキストの色を変更することもできます。
- D 「ラベルをリセット」ボタン：クリックすると、ラベルテキストに加えた変更をすべて取り消して、テーマの設定に戻ります。
- E 「トランジション」ポップアップメニューと方向のコントロール：DVDの再生時にボタンの間を移動するときのトランジションおよびそれに続くアクション（ムービーの再生など）を選択します。一部のトランジションでは、矢印ボタンでトランジションの移動する方向を選択できます。
- F 「調整」ボタン：目には見えないグリッドに沿ってボタンを並べるか、メニュー内の好きな位置にボタンを配置するかを選択します。
- G 「強調表示色」ウェル：このボックスをクリックすると、メニューでボタンを選択した際に使われる強調表示色が選択できます。

「メディア」パネル

「メディア」パネルを使うと、コンピュータに保存したムービー、イメージ、およびミュージックを簡単に使えるようになります。以下の 3 つの図では、「メディア」パネルの 3 つのパネルのコントロールを示します。「メディア」パネルを表示するには、iDVD ウィンドウで「メディア」ボタンをクリックします。「メディア」パネル上部のボタンで、「オーディオ」、「写真」、および「ムービー」の設定を切り替えます。

オーディオ

DVD に使用する曲やその他のサウンドを追加するには、「オーディオ」パネルを使用します。「オーディオ」パネルを表示するには、iDVD ウィンドウの「メディア」ボタンをクリックして、「メディア」パネルの最上部にある「オーディオ」をクリックします。



- A オーディオソースリスト：「GarageBand」、「iTunes」のプレイリスト、または「ライブラリ」を選択して、自分で作った曲や iTunes ライブラリの曲を DVD に追加します。
- B 曲リスト：メニューやスライドショーの BGM を設定するには、このリストから曲またはプレイリストを「オーディオ」ウェルヘッドドラッグします。
- C 再生ボタン：クリックすると選択した曲を再生できます。
- D 検索フィールド：曲名を入力して検索します。
- E 「適用」ボタン：メニューやスライドショーの BGM にする曲またはプレイリストを選択したら、「適用」をクリックします。

写真

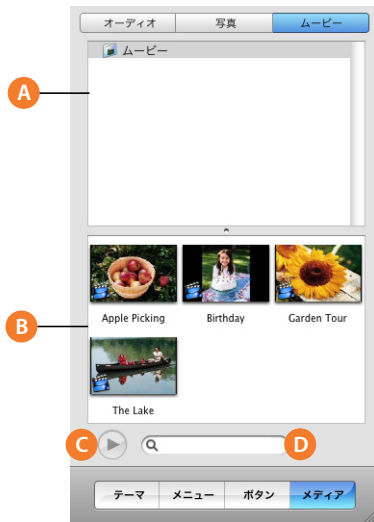
iPhoto ライブラリにある写真をすべて表示し、アルバム全体やスライドショーをすばやくプロジェクトに追加するには、「写真」パネルを使用します。「写真」パネルを表示するには、iDVD ウィンドウの「メディア」ボタンをクリックして、「メディア」パネルの最上部にある「写真」をクリックします。



- A iPhoto アルバムリスト：使いたい写真が入っている iPhoto アルバムまたはライブラリを選択します。アルバム全体をメニューにドラッグするか、下のリストをスクロールしてアルバムの写真を選びます。
- B 写真リスト：スクロールすると、すべての写真のサムネールを見ることができます。写真または写真のグループをメニューの背景またはドロップゾーンにドラッグします。
- C 検索フィールド：写真の名前を入力して検索します。

ムービー

コンピュータに保存したムービーの場所を検索してプロジェクトに追加するには、「ムービー」パネルを使用します。ハードディスクの「ムービー」フォルダに保存したムービーはリストに自動的に表示されますが、ほかのフォルダ内のムービーをリストに追加することも可能です。「ムービー」パネルを表示するには、iDVD ウィンドウの「メディア」ボタンをクリックして、「メディア」パネルの最上部にある「ムービー」をクリックします。



- A ムービーフォルダリスト：ホームフォルダにある「ムービー」フォルダがリストに表示され、「iDVD」からムービーファイルを検索しやすくなります。「iDVD」の「環境設定」でフォルダを選択することにより、ムービーを保存するフォルダをこのリストに追加できます。
- B ムービーリスト：ここからメニューへムービーをドラッグして、ムービーボタンを作成します。また、ムービーをドロップゾーンにドラッグすると、メニューの背景でムービーが再生されます。ムービーは Finder からドラッグするという方法でもリストに追加できます。
- C 再生ボタン：クリックするとリスト内のムービーを再生できます。
- D 検索フィールド：ムービー名を入力して検索します。

「プロジェクト情報」ウインドウ

作業中の iDVD プロジェクトのリソースに注意し、ハードディスクや作成するディスクの空き容量を監視するには、「プロジェクト情報」ウインドウを使います。「プロジェクト情報」ウインドウを表示するには、「プロジェクト」>「プロジェクト情報」と選択します。

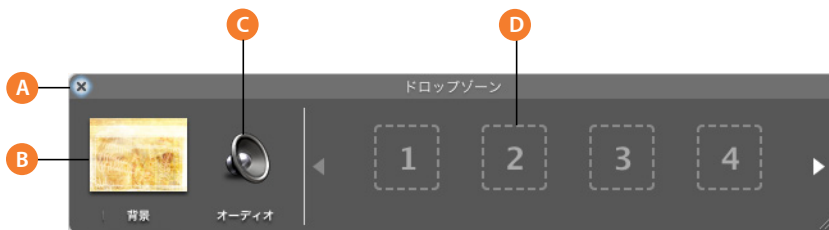


- A ディスク名：ディスクに付ける名前を入力します。ディスク名には、保存したプロジェクトとは別の名前を付けることができます。
- B 「ビデオモード」ポップアップメニュー：プロジェクトのフォーマットを選びます。NTSC は北米と日本、およびヨーロッパ諸国を除くその他の国で使用されています。PAL はほとんどのヨーロッパ諸国で使用されています。
- C 「アスペクト比」ラジオボタン：プロジェクトのアスペクト比を選びます。標準的なテレビのアスペクト比は 4:3、ワイド画面テレビのアスペクト比は 16:9 です。
- D 「エンコーディング」ラジオボタン：プロジェクトのエンコード設定を選択します。ディスクを短時間で作成したい場合は「処理能力を優先する」を、時間がかかっても高品質のディスクを作成したい場合は「品質を優先する」を選択します。
- E 「DVD のタイプ」ポップアップメニュー：プロジェクトに使用する DVD の種類を選択します。
- F 「プロジェクトの継続時間」：DVD 上のすべてのコンテンツの再生時間を確認します。
- G DVD の容量：iDVD プロジェクトの DVD の残りの空き容量を確認できます。右側のテキストをクリックすると、容量表示（ギガバイト単位）と時間表示（分単位）が交互に切り替わります。プロジェクトのサイズは、DVD ディスクのサイズによって制限されます。
- H 状況メーター：メニューの背景やボタンでビデオやオーディオを再生できる時間、作成中の DVD に追加できるビデオトラックおよびスライドショーの残り数、および追加できるサブメニューの数を確認できます。

-
- I 「メディア」リスト：プロジェクト内のメディアを表示します。ファイルのタイプや場所も表示されます。「状況」列のチェックマークは、ファイルが使用できることを示します。
 - J 「素材」リスト：iDVD プロジェクト内のムービーの名前を表示します。「エンコーディング」列は、ムービーがエンコードされているかどうかを示します。「ディスクを作成」ボタンをクリックすると、エンコードが完了してからディスクが作成されます。
-

ドロップゾーンエディタ

ドロップゾーンエディタは、イメージやムービーを簡単に追加できるように、メニュー内のドロップゾーンをすべて表示します。ドロップゾーンエディタを表示するには、ドロップゾーンをダブルクリックするか、「メニュー」パネルの「ドロップゾーンを編集」ボタンをクリックします。



-
- A 「閉じる」ボタン：クリックするとドロップゾーンエディタが閉じます。
 - B 「背景」ウェル：ここにドラッグしたイメージやムービーが、メニューの新しい背景になります。
 - C 「オーディオ」ウェル：オーディオファイルを「メディア」パネルなどからここへドラッグすると、メニューにサウンドトラックが追加されます。
 - D ドロップゾーン：イメージまたはムービーを「メディア」パネルなどからここへドラッグすると、イメージやムービーがメニューの背景に追加されます。
-

スライドショーエディタ

スライドショーエディタには選択したスライドショーのすべての写真が表示され、スライドショーの再生方法をコントロールで設定できるようになっています。スライドショーエディタを表示するには、スライドショーボタンまたはスライドショーのドロップゾーン内のイメージをダブルクリックします。



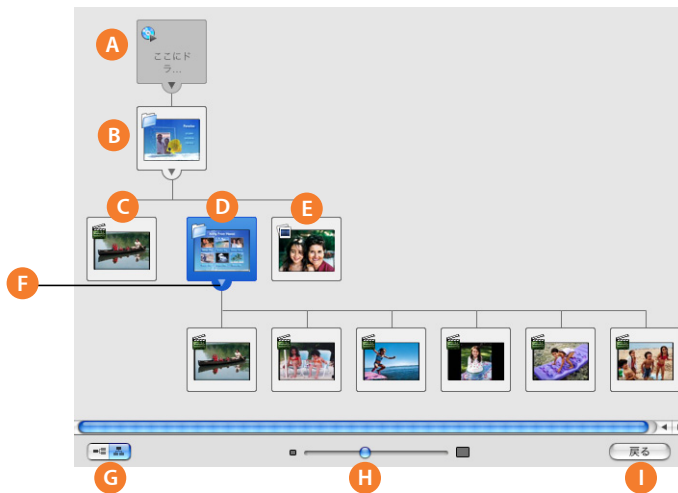
- A スライドショーの長さ：スライドショーの時間が分と秒で表示されます。
- B リストまたはサムネイルビュー：スライドのリストとサムネイルビューを切り替えます。
- C スライドショー写真リスト：リストをスクロールすると、このスライドショーの写真を確認できます。サムネイルをドラッグして、写真の並び順を変えることができます。
- D タイトルとコメント：写真のタイトルとコメントを入力します。入力した情報は、スライドショー内でスライドの下に表示されます。表示されるのは入力した文字列のみです。プレースホルダのテキストは表示されません。
- E 「スライド継続時間」ポップアップメニュー：スライドショーを再生するときの各スライドの表示時間を選択します。サウンドトラックを追加した場合、スライドショーとサウンドトラックは同時に終了するように自動的に「オーディオに合わせる」に設定されます。
- F 「トランジション」ポップアップメニューと方向コントロール：あるスライドから次のスライドに移動する際のトランジションを選択します。一部のトランジションでは、矢印ボタンでトランジションの移動する方向を選択できます。
- G 「オーディオ」ウェル：スライドショーの再生中に背景で曲や iTunes プレイリストを再生するには、再生する曲やプレイリストをここにドラッグします。「オーディオ」ウェルのサウンドファイルのアイコンの上にマウスのポインタを置くと、その曲のタイトルと時間（またはプレイリストの最初の曲のタイトル）が表示されます。音量スライダを左右に移動してオーディオの音量を調整します。
- H 「スライドショーの音量」スライダ：スライダをドラッグしてこのスライドショーの音量を設定します。

-
- I 「設定」ボタン：クリックすると、スライドショーのオプションが表示されます。スライドショーに戻るコントロールおよび進むコントロールを追加したり、スライドショーの繰り返し（ループ）再生を設定したり、DVD-ROM コンテンツにファイルを追加したり、タイトルやコメントの表示／非表示を切り替えたりすることができます。
-
- J 「戻る」ボタン：クリックすると、スライドショーエディタが終了します。
-

マップビュー

DVD プロジェクト全体を概観するには、マップビューを使用します。マップビューは、サブメニュー、スライドショー、およびムービーがどのようにリンクされているかを視覚的に表示します。さらにマップビューでは、プロジェクト要素の追加や削除を行って DVD メニューを直接編集したり、ディスクを作成する前にエラーがないかどうかチェックしたりすることもできます。

マップビューを表示するには、iDVD ウィンドウの下部にある「マップ」ボタンをクリックします。



-
- A プロジェクトアイコンおよび自動再生ウェル：マップ内の最初のアイコンはプロジェクトアイコンです。ムービーやスライドを自動再生ウェル上にドラッグすると、DVD のメインメニューが現れるまでの間、それが再生されるようになります。ウェル内のイメージをダブルクリックすると、ムービーならばプレビュー再生し、スライドショーならば編集することができます。
-
- B メインメニュー：DVD を再生したときに最初に表示されるメニューです。このアイコンをダブルクリックするとメインメニューが開きます。ここにドラッグしたムービーやスライドショーはメニューに追加されます。
-
- C ムービーアイコン：メインメニューから使うことができるチャプタマーカ付きのムービーです。ダブルクリックすると再生が始まります。
-
- D シーン選択メニュー：チャプタマーカ付きムービーの各チャプタを列挙したメニューです。ダブルクリックすると、シーン選択メニューが開きます。
-
- E スライドショー：メインメニューから表示できるスライドショーです。ここをダブルクリックすると、そのスライドショーのスライドショーエディタが表示されます。
-
- F ディスクロージャ三角アイコン：クリックすると、マップのうち、このディスクロージャ三角アイコンから出ているリンクにつながった部分が非表示になります。もう一度クリックすると再び表示されます。
-

-
- G 水平表示／垂直表示：ディスクロージャ三角アイコンを使ってアイコン間を結び、階層表示する方向を切り替えます。

 - H ズームスライダ：ドラッグすると、プロジェクト全体が表示されるようにしたり、アイコンを拡大して表示したりできます。

 - I 「戻る」ボタン：クリックすると、マップビューが終了します。
-

www.apple.com/jp/ilife/idvd

© 2006 Apple Computer, Inc. All rights reserved.

Apple、Apple ロゴ、Final Cut、Final Cut Pro、iDVD、iLife、iMovie HD、iPhoto、iTunes、および QuickTime は、米国その他の国で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。GarageBand、iSight、Keynote、および SuperDrive は、Apple Computer, Inc. の商標です。

J019-0538-A